

プログラム名	木のシルエット					
ねらい	体全体で木の形を表現したり、木の芽の表情を探したりして楽しむ。					
使う感覚など	 みる	 きく	 はなす	 さわる	 かぐ	 つくる
場所	園庭、身近な自然（葉が落ち、木の姿が見えやすい秋～冬も面白い）					
準備物	・特になし					
子どもの活動			ポイント			
○3名程度のグループをつくる。 ○活動のルールや注意点を聞く。 ○グループで表現したい木を決めて、表し方を相談してポーズをとる。 「この木は上のほうがひろがっているね」 「うではまっすぐよりだらっとしてみよう」 「地面に映る陰が木みたいになっている」 ○集合して、グループ同士で当て合う。 ○冬芽さがしをする。 「笑った顔にみえる」 「宇宙人みたい」 「みのむし発見。中はどうなっているのかな」 ○振り返り			・複数人で協力して活動できるように、グループを調整する。 ・グループで、表現したい木を1本決める。 その木の形を体全体を使って表現し、周りの人がどの木を表現しているか、当てるゲーム。 ・子どものつぶやきに共感しながら、感じたことを声に出して伝えながら一緒に楽しむ。 ・冬芽の実物や絵本を紹介し、グループで冬芽を探そうと提案する。 ・カメラを渡して写真に撮ると、あとで振り返ったり、春になったとき姿を比較したりすることができる。 ・楽しかったことや見つけたことを伝え合う。 ・季節が変わるとどんな変化があるか、イメージを膨らませて話せるよう促す。			
安全対策	・保育者同士が連携を取りながら、子どもたち全員を視野に入れておく。					
つながる 絵本・歌	☐ 「ふゆめがっしょうだん」 福音館書店 1990 ☐ 「いいことってどんなこと」 福音館書店 2001 ☐ 「はるのやまはザワザワ」 徳間書店2001 ♪「みのむしさん」 ♪「みのむしのブランコ」					
広がる遊び	・影絵あそび					